

## ■AI・IoT

### [1] 英 AI 企業、新研究ユニットを立ち上げ、AI にまつわる倫理及び AI の社会に及ぼす影響に関する研究を行う《英国》

グーグルの傘下にある英 AI（人工知能）企業「ディープマインド」は 2017 年 10 月、AI にまつわる倫理及び AI の社会に及ぼす影響に関する研究を進める新ユニット「ディープマインド倫理と社会（Deep Mind Ethics & Society）」を立ち上げたと発表しました。

同社は AI 技術を開発する科学者として、我々の開発が実際の社会にどのような影響を及ぼすかについて、広く開かれた形で調査・研究を行う責任を負っていると説明しており、AI が人類のコントロール下にあり、社会に有益な形で活用されるべきだとしています。新研究ユニットの概況は以下のとおりです。

\* 研究の目的：技術者が AI を実際に使う場面において倫理を適用する手助けをすること、及び社会全体が AI のインパクトに期待し、全ての人々の利益となるように AI を導くための手助けを行うこと。

\* 研究フェロー：哲学、経済学、倫理、コンピューターサイエンス等を専門にする 6 人の独立した研究フェローが新ユニットの研究戦略と作業プログラムを監督し、助言を行う。

\* 提携組織：幅広い視点を含むことを目的に多くの提携組織と協力する。現時点では、ニューヨーク大学 AI ナウ研究所（AI Now Institute）、アーティクル 36、バース大学政策研究所、公共政策研究所（IPPR）、リーヴァーヒューム未来知能研究センター（CFI）、オックスフォード大学オックスフォードインターネット研究所（OII）の傘下にあるデジタルエスニックラブ（DELab）、パートナーシップ・オン・AI、王立協会（Royal Society）がパートナー組織となっている。

### [2] 北京航空航天大学、中国初の AI 専門課程を創設《中国》

北京航空航天大学ソフトウェア学部は、中国初の AI 専門課程を創設すると公表しました。同課程では、産学連携で複数機関が協力して人材育成する方式で教育プランを策定する予定です。業界の最新の発展状況を把握した上で、複数の学科を融合し、ディープラーニング、Brain-Like コンピューティング、視覚センシング、ロボット、認知科学、無人システム等に関わる科目を設置するほか、学生は関連企業のインターンシップに 1 年間参加することになっています。

同大学は、百度（Baidu）と AI 専門教育協力合意書を、中国 AI 産業革新連盟、中国ソフトウェア試験評価センターと戦略的協力合意書をそれぞれ締結しました。教員の構成は、3 割が業界の有名な専門家、3 割が実践経験のある専門家、4 割が大学の教授となっています。

## ■プライバシー

### [3] プライバシーシールド協定、初の年次レビュー報告を公表《EU・米国》

EUと米国との間で結ばれたプライバシーシールド協定は、締結から約1年を迎えました。欧州委員会は2017年9月半ばに初めての年次レビューを実施し、10月18日に年次レビュー報告書を公表しました。レポートでは、プライバシーシールド協定は個人データ保護において十分な機能レベルを有しているとした上で、さらなる機能改善のために提案がなされています。提案には、

- ・参加企業のプライバシーシールドへのコンプライアンスについて、米国商務省による監視を強化すること
- ・苦情の申し立てなど、EU市民に対するプライバシーシールドに関する権利行使についての啓発
- ・米国商務省や連邦取引委員会といったデータ保護期間と、欧州DPAとの連携強化
- ・恒久的なオンブズパーソンの任命

などが挙げられます。

今後、レポートは欧州議会、欧州理事会、第29条作業部会及び米国関係機関に送られます。欧州委員会は米国関係機関と、提案についてのフォローアップを今後数ヶ月の間行う予定です。欧州委員会は、米国関係機関がコンプライアンスを遵守できているかを含め、プライバシーシールド協定が機能しているか監視を続けていきます。

## ■NB-IoT技術の利活用

### [4] Teliaと国内IoTプロバイダDatek、NB-IoT技術を利用したスマート街灯のプロトタイプを開発《ノルウェー》

通信事業者大手 Telia（以下、テリア）と国内 IoT プロバイダ Datek Light Control（以下、Datek）は 2017 年 10 月、NB-IoT 技術を利用したスマート街灯の試作品を開発しました。試作品はエネルギー消費量の削減、街灯の自動的な環境適応、そして他の照明に生じた異常の報告やそれに基づいた警報・メンテナンススケジュール提供を可能にしました。照明器具が街灯柱に設置されると、テリアのネットワークを介して自動的に Datek のサーバに接続し、GPS の位置が Datek の地図アプリに転送されます。

テリアによる NB-IoT の実証は 2016 年から行われており、養羊、灌漑設備、スマートポンプ、スマートフローメータの例があります。